

第3回 印西市部活動地域移行推進協議会 次第

日時：令和5年9月28日（木）

13：30～

場所：印西市役所4F 41会議室

開会

1 会長挨拶

2 報告事項

（1）前回までの協議会で決まった方向性

資料1

3 協議事項

（1）印西市独自のモデル事業実施について

資料2

（2）部活動地域移行の周知について

資料3

・リーフレット

別添①

・ポスター

別添②

・児童生徒用アンケート

別添③

・保護者用アンケート

別添④

4 その他

（1）今後の検討事項

資料4

（2）他市町の進捗状況

資料4

閉会

【今後の協議会の予定】

■部活動地域移行検討委員会（ 5/10 7/3 9/11 12/8 ）

■印西市部活動地域移行推進協議会（ 5/19 7/18 9/28 12/18 ）

資料1 報告 「前回までの協議会で決まった方向性」

●第1回部活動地域移行推進協議会で決まった方向性

- ☆印西市の子どもたちに不利益がないように
- ☆学校現場や生徒たちに混乱がないように、そして差が生まれないように
- ☆令和8年度を目途に、休日の部活動から休日の地域クラブ化を目指す

課題 指導者や運営を行う人材確保

ミクロな視点の地域移行ではなく、マクロな視点で地域移行を設定する
(モデル事業の実施) (休日の学校部活動から地域クラブへ)

●第2回部活動地域移行推進協議会で決まった方向性

■実施主体になりえる組織・団体

A	教育委員会での直轄運営	×
B	行政部局（教育委員会・スポーツ振興課・生涯学習課など）で設置した任意団体	×
C	総合型地域スポーツクラブ	×
D	スポーツ少年団	×
E	市スポーツ協会	×
F	県や郡、地域の競技団体	×
G	地域のクラブチームやプロスポーツチーム	×
H	民間事業者（フィットネスやスポーツ教室など）	×
I	大学	×
J	地域と学校の連携・協働体制（地域学校協働本部）	×
K	保護者会・同窓会・複数の運動部が統合して設立する団体	×
L	その他	?

■運営団体（外部指導者）になりえる人材

A	総合型地域スポーツクラブの指導者	△
B	スポーツ少年団の指導者	△
C	各競技団体に所属する指導者	△
D	退職教員（競技指導経験または一定の競技経験あり）	△
E	教員の兼職兼業（競技指導経験または一定の競技経験あり）	△
F	学校事務職員の兼職兼業（競技指導経験または一定の競技経験あり）	×
G	スポーツ推進委員（印西市内28名登録）	△
H	地域おこし協力隊	×
I	ICTを活用した遠隔地の指導者（民間業者のプログラム）	×
J	企業関係者（実業団含む）	×
K	クラブチーム関係者（プロチーム）	△
L	民間スポーツ事業者に所属する指導者（フィットネス・スポーツ教室など）	×
M	大学生	△
N	その他	?

- ☆実施主体は様々な側面から考慮した上で、民間委託という形も選択肢に入れていく
- ☆運営団体は対価を支払う形で、それぞれの組織からも指導者として人材は確保できる

資料2 協議事項(1) 「印西市独自のモデル事業の実施」

【第1回協議会より】

- 県のスケジュール通りではなく、令和8年度の全体的な部活動地域移行を目指し、印西市独自のスケジュールで部活動地域移行を進めていく
- とりあえずのモデル事業として地域移行すると、学校、教員、生徒に差ができてしまい混乱が生じてしまう
- 最終的な目標（印西市部活動地域移行の形）に近い形で段階的な地域移行できるのであれば、助走という意味でモデル事業を実施するのも良い

【段階的な地域移行のメリット・デメリット】

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ● モデルの実施により生徒や保護者に印西市部活動地域移行の形や仕組みを周知することができイメージしやすい ● 一斉に移行すると何か問題や課題が生じたときに大きな母体だと軌道修正が難しい ● 莫大な予算がかかるので、予算的にも段階的なモデル事業での実証があった方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校内で通常部活動と地域クラブという差が生じてしまい、教員・生徒・保護者を混乱させてしまう ● 通常の学校部活動を継続していく一方で地域クラブがスタートすると月謝や保護者の送迎などの負担がかかるなど不平等な対応になる ● 大会主催と運営が明確ではなく、大会に学校として出場するのか、地域クラブとして出場するのかの議論が必要

【地域移行モデル実施のタイミング】

行政的な視点では、年度初め（4月）からの1年間で実証が望ましい
 学校的な視点では、新チーム（8月）から引退（7月）までの1年間がスムーズ

- ⇒ 8月からの検証・考察では次年度に向けての改善ができない。
- ⇒ 4月からの検証では中学3年生が最後の大会に向けての活動に大きな変化が生じる

【予算のスケジュール】

年度	①R7年4月ケース	②R7年8月ケース	③R8年4月ケース
令和5年度	当初予算 予算取り	当初予算 予算取り	事前準備
令和6年度	プロポーザル	プロポーザル	当初予算 予算取り
令和7年度	4月モデル事業開始	8月モデル事業開始	プロポーザル
令和8年度	4月地域移行事業開始	4月地域移行事業開始	4月地域移行事業開始

⇒ R7年度のモデル事業実施のためにはすぐに予算について動き出さなければならない

モデル事業の実施について 実施した方が良い ・ 実施しない方が良い

資料3 協議事項(2) 「部活動地域移行の周知について」

○印西市部活動地域移行のリーフレット (vol.1) の発行 別添①

- 今後、継続的に部活動地域移行のリーフレットを発行し、アンケート結果や地域移行の進捗等を生徒・保護者・市民に周知していく
- ⇒市HPに公開・公共施設に掲示・小中学生保護者にスクリレ配信

○印西市部活動地域移行のポスターの発行・掲示 別添② (例)

- 印西市の地域移行について関心を持たせる掲示物の作成
- 各学校・公共施設に掲示、小学生高学年・中学生(保護者)向けにスクリレ配信
- ※リーフレットのQRコードを配置し、上記リーフレットにリンクする

○地域移行についてのアンケート

- アンケート対象者
- ・小学4年生～中学2年生対象 別添③
 - ・小学4年生～中学2年生保護者対象 別添④

アンケート実施日 ・リーフレット等で生徒・保護者に周知した後実施予定

アンケート内容 ・別紙アンケート(案)

【部活動地域移行の周知のスケジュール】

9月28日(木)	第3回印西市部活動地域移行推進協議会
10月11日(水)	校長会で地域移行アンケートの実施を伝達
10月中旬～10月下旬	学校へリーフレット配付(スクリレ配信)の依頼 生徒・保護者への周知
10月下旬～11月下旬	依頼文書のQRコードからアンケートを実施
11月下旬～12月上旬	アンケート結果とりまとめ
12月18日(月)	第4回印西市部活動地域移行推進協議会
R6年1月以降	リーフレットにてアンケート結果を公開

資料4 「その他」 「今後の課題・検討事項について」

○吹奏楽部の地域移行の在り方

どのようなスケールでどのような方針で実施していくのか・・・

- ・練習場所
- ・使用する楽器
- ・学校部活動との連携
- ・指導者の確保と報酬

⇒今後、吹奏楽部の顧問の先生からも聞き取りを実施していく。

○民間委託業者の調査・選定

- ・どのような業務を委託するか
- ・人材や練習場所の確保の方法
- ・指導者の確保と報酬

○費用について

- ・受益者負担について
- ・準備するための市の予算の確保

○次年度以降の部活動地域移行推進協議会について（見通し）

- ・R6年度 委託業者の見積り プロポーザル 予算取り
- ・R7年度 委託業者と契約 指導者人材登録 生徒・保護者向け説明会
(状況によっては、印西市独自スケジュールの事前モデル事業開始)
- ・R8年度 部活動地域移行スタート

「その他」 「他市町の進捗状況」

いくつかの自治体で今秋よりモデル事業をスタートします。

- 柏市 (複数部活動) 市内4エリアに分類し、300人の指導者確保
- 流山市 (複数部活動の外部指導者派遣)
- 成田市 (柔道)
- 佐倉市 (拠点校方式陸上)
- 四街道市 (検討中)
- 白井市 (陸上)
- 富里市 (拠点校方式剣道)
- 八街市 (検討中)
- 栄町 (検討中)
- 酒々井町 (検討中)

⇒進捗状況や課題など情報を共有し、印西市の部活動地域移行に反映していく。

※印西市も部活動サポーター（外部指導者派遣）9校16部活動に配置